政策　04　環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

施策　01　道路環境の整備

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市が管理する道路施設及び都市計画に位置付けている都市計画道路、道路利用者	道路施設の計画的な整備と適切な維持管理が行われ、道路利用者の安全性や利便性、快適性が確保されています。

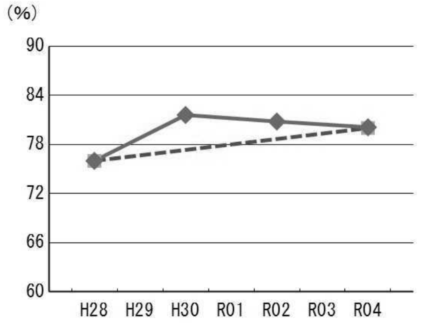
施策の成果状況と評価

指標① 幹線道路に満足している市民の割合　【道路河川課】

単位	基準値(H28)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	指標のうごき	目標達成度
%	76.0	－	80.1	↗	(向上)	(達成)

評価

（状況）幹線道路に満足している市民の割合は80.1%で、前回（R2）80.8%と比較すると0.7ポイント減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると4.1ポイント増加しており、目標値を達成しています。
（原因）道路整備年次計画に基づき、道路の拡幅や道路舗装修繕等を効率的に実施し、適切な維持管理を継続しているため、幹線道路に満足している市民の割合は前回（R2）と比較し、横ばいで推移しています。

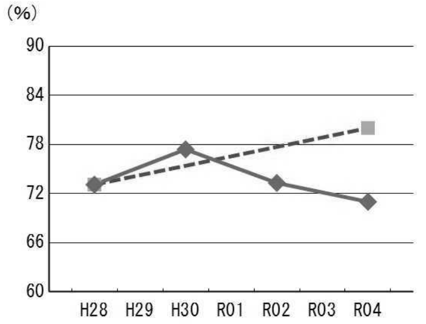


指標② 生活道路に満足している市民の割合　【道路河川課】

単位	基準値(H28)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	指標のうごき	目標達成度
%	73.1	－	71.0	↗	(横ばい)	(中)

評価

（状況）生活道路に満足している市民の割合は71.0%で、前回（R2）73.3%と比較すると2.3ポイント減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると2.1ポイント減少しましたが、市民アンケートにより取得した指標であり、統計誤差の範囲であるため、横ばいです。
（原因）目標値は達成できませんでしたが、市道の改良や舗装は順調に進んでおり、緊急性のある市道の修繕整備も行っていることから、統計誤差を踏まえると、市民が一定程度満足していると考えられます。



指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。
※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

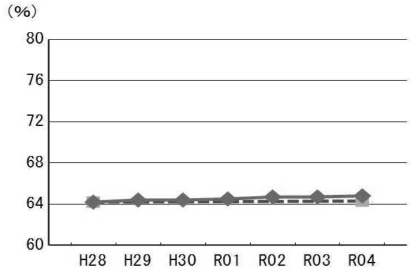
- 基本事項　01　道路の整備
- 基本事項　02　道路維持管理の推進
- 基本事項　03　橋りょう長寿命化の推進
- 基本事項　04　都市計画道路の整備

基本事項01　道路の整備

指標① 市道の改良率　【道路河川課】

単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
%	64.2	64.7	64.8	64.3	(向上)

目標達成度：(達成)



評価

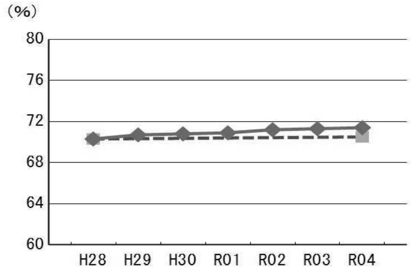
（状況）市道の改良率は64.8%で、前年度と比較すると0.1ポイント増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると0.6ポイント増加しており、目標値を達成しています。
（原因）市道4路線L=689mの道路改良を実施しましたが、市道認定路線が2路線増え、管理延長についても381m増加したことによるものです。

基本事項01　道路の整備

指標② 市道の舗装率　【道路河川課】

単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
%	70.3	71.3	71.4	70.5	(向上)

目標達成度：(達成)



評価

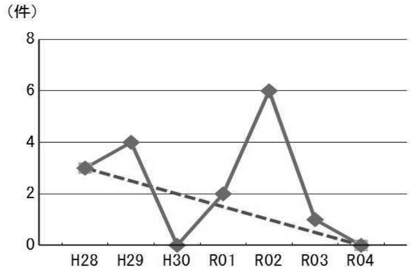
（状況）市道の舗装率は71.4%で、前年度と比較すると0.1ポイント増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると1.1ポイント増加しており、目標値を達成しています。
（原因）生活道路等の利用状況を踏まえ、5路線L=389mの舗装新設を実施したことによるものです。

基本事項02　道路維持管理の推進

指標① 道路維持管理上の不具合による事故発生件数　【道路河川課】

単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
件	3	1	0	0	(向上)

目標達成度：(達成)



評価

（状況）道路維持管理上の不具合による事故発生件数は0件で、前年度と比較すると1件減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると3件減少し、目標値を達成しています。
（原因）定期的なパトロールや「レポナウすかがわ」への投稿情報などのSNSを活用し、道路維持管理上の不具合に対し迅速な安全対策と修繕等を行っているため、事故等は発生しませんでした。

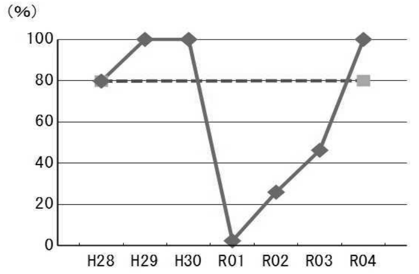
基本事項03　橋りょう長寿命化の推進

指標① 橋りょう定期点検実施率（2巡目：2019（R1）年～2023（R5）年）　【道路河川課】

1巡目：2014（H26）年～2018（H30）年

単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
%	79.8	46.3	100.0	80.0	(向上)

目標達成度：(達成)



評価

（状況）橋りょう定期点検（2巡目）については、すべての橋りょう点検が完了し、前年度と比較すると53.7ポイント増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると20.2ポイント増加しており、目標値を達成しています。
（原因）2014（H26）年度から開始した1巡目（5か年）の橋りょう定期点検が2018（H30）年度に完了し、2019（R1）年度より2巡目となる橋りょう定期点検（4年目）が順調に実施され、管理する箇所の点検が全て完了したためです。

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項　01　道路の整備
- 基本事項　02　道路維持管理の推進
- 基本事項　03　橋りょう長寿命化の推進
- 基本事項　04　都市計画道路の整備

基本事項03　橋りょう長寿命化の推進

指標② 橋りょう長寿命化修繕計画における修繕率

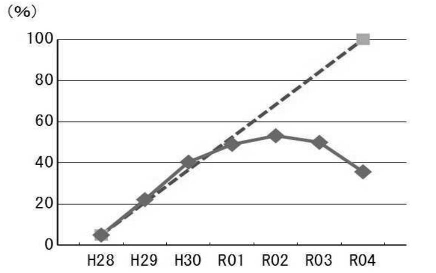
【道路河川課】

単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
%	5.0	50.0	35.7	100.0	―――

目標達成度：―――

評価

（状況）橋りょう長寿命化修繕計画における修繕率は35.7%で、前年度と比較すると14.3ポイント減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると30.7ポイント増加しました。
（原因）道路メンテナンス補助事業を活用し、妙見橋外3橋の修繕を行い、また、総合計画期間内では全部で13橋の修繕を実施し長寿命化を進めましたが、2巡目の定期点検で修繕の必要な橋りょうが増加したことが要因となっています。
※2022（R4）年度から2巡目の定期点検で確認された修繕が必要な橋りょう数が加算されたため、基準値及び前年度との単純比較はできません。



基本事項04　都市計画道路の整備

指標① 都市計画道路の整備率

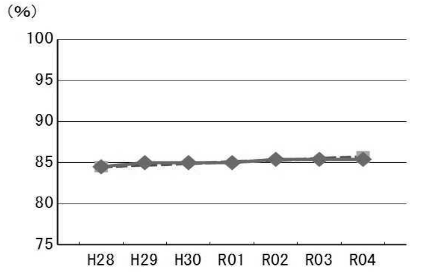
【都市計画課】

単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
%	84.5	85.4	85.4	85.7	(向上)

目標達成度：(高)

評価

（状況）都市計画道路の整備率は85.4%で、前年度と同率であり、総合計画基準値（H28）と比較すると0.9ポイント増加しており、順調です。
（原因）国道4号を補完する関下一里坦線の狐石工区が完了し、供用開始したためであり、引き続き道路整備を進めてまいります。



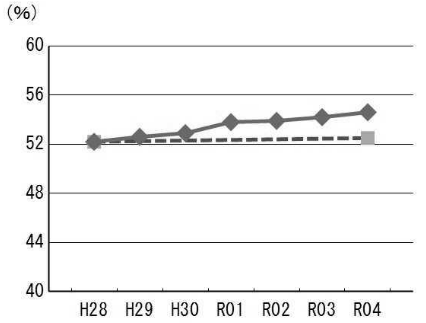
政策　04　環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

施策　02　住環境整備の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市域	市街化区域の利便性が高まり、暮らしやすい住環境が整備されています。

施策の成果状況と評価

指標①		単位	基準値（H28）	実績値（R03）	実績値（R04）	目標値（R04）	指標のうごき
指標①	市街化区域の人口割合 【都市計画課】	%	52.2	54.2	54.6	→	（向上）
評価	（状況）市街化区域の人口割合は54.6%で、前年度と比較すると0.4ポイント増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると2.4ポイント増加しており、目標値を達成しています。 （原因）市街化区域内の暮らしやすい住環境整備が進み、利便性が向上していることが要因として考えられます。						目標達成度 （達成）

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。
※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

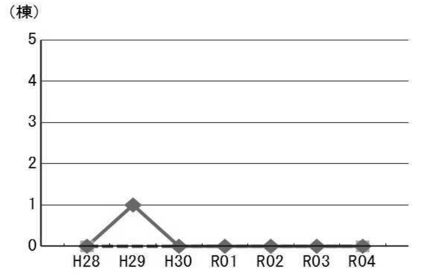
- 基本事項　01　適切な土地・建物の利用推進
- 基本事項　02　都市機能の集約
- 基本事項　03　安全で快適な公園緑地化の推進
- 基本事項　04　良好な都市景観の創出・維持

基本事項01　適切な土地・建物の利用推進

指標①	違反是正の行政指導を行った建築物等の数 【建築住宅課】	単位	基準値(H28)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	指標のうごき
		棟	0	0	0	0	(向上)

評価

（状況）違反是正の行政指導を行った建築物等の数は0棟で、2018（H30）年度以降、総合計画基準値（H28）を維持しており、目標値を達成しています。
（原因）建築確認、中間・完了検査等の制度の適正な運営に努めているほか、建築基準法に基づく報告徴取等に取り組んでいることが要因と考えられます。



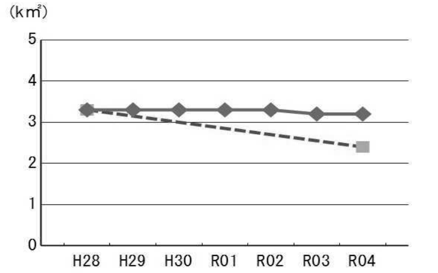
目標達成度：(達成)

基本事項01　適切な土地・建物の利用推進

指標②	市街化区域内の未利用地面積 【都市計画課】	単位	基準値(H28)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	指標のうごき
		k㎡	3.3	3.2	3.2	2.4	(横ばい)

評価

（状況）市街化区域内の未利用地面積は3.2k㎡で、前年度と同数であり、総合計画基準値（H28）と比較すると0.1k㎡減少しておりますが、横ばいです。
（原因）大規模な開発行為等が無く、小規模な土地利用が進んでいることが要因と考えられます。



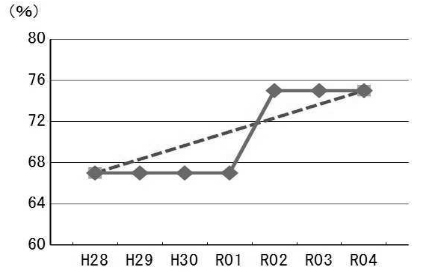
目標達成度：(低)

基本事項02　都市機能の集約

指標①	都市機能の集約割合 【都市計画課】	単位	基準値(H28)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	指標のうごき
		%	67.0	75.0	75.0	75.0	(向上)

評価

（状況）都市機能の集約割合は75.0%で、前年度と同率であり、総合計画基準値（H28）と比較すると8.0ポイント増加しており、目標値を達成しています。
（原因）区域内は、利便性の高い都市施設の集約が概ね図られてきていることが要因で、進捗が緩やかであると考えられます。



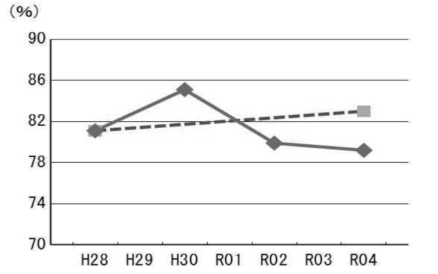
目標達成度：(達成)

基本事項03　安全で快適な公園緑地化の推進

指標①	公園の整備・維持管理に対する住民満足度 【都市計画課】	単位	基準値(H28)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	指標のうごき
		%	81.1	－	79.2	↗	(横ばい)

評価

（状況）公園の整備・維持管理に対する住民満足度は79.2%で、前回（R2）79.9%と比較すると0.7ポイント減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると1.9ポイント減少しましたが、市民アンケートにより取得した指標であり、統計誤差の範囲であるため、横ばいです。
（原因）市内公園について、適正な維持管理が行われていること、公園内でイベント等の開催を推進して公園に対する関心度が高まっていることが要因と考えられます。



目標達成度：(中)

□基本事項の成果状況と評価

基本事項　01　適切な土地・建物の利用推進

基本事項　02　都市機能の集約

基本事項　03　安全で快適な公園緑地化の推進

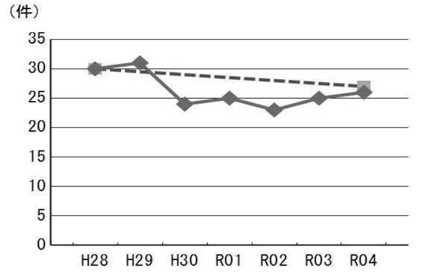
基本事項　04　良好な都市景観の創出・維持

基本事項03　安全で快適な公園緑地化の推進

指標② 公園維持管理上の不具合等による支障件数　【都市計画課】

単位	基準値(H28)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	指標のうごき
件	30	25	26	27	(向上)

目標達成度：(達成)



評価

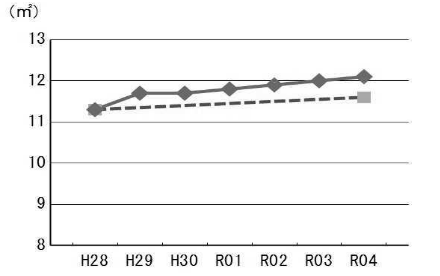
（状況）公園維持管理上の不具合等による支障件数は26件で、前年度と比較すると1件増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると4件減少しており、目標値を達成しています。内訳は、施設などの不具合が7件、除草や樹木に関するものが7件、利用やマナーによるものが4件、その他8件となっています。
（原因）公園施設長寿命化計画に基づき、遊具や樹木等の日常管理を行っていることが要因と考えられます。

基本事項03　安全で快適な公園緑地化の推進

指標③ 市民一人当たりの都市公園供用面積　【都市計画課】

単位	基準値(H28)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	指標のうごき
㎡	11.3	12.0	12.1	11.6	(向上)

目標達成度：(達成)



評価

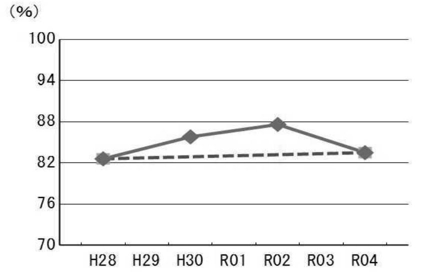
（状況）市民一人当たりの都市公園供用面積は12.1㎡で、前年度と比較すると0.1㎡増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると0.8㎡増加しており、目標値を達成しています。
（原因）墓地公園の供用面積が毎年増えていること、指標の分母である総人口が減少していることも要因と考えられます。

基本事項04　良好な都市景観の創出・維持

指標① 都市景観が良好だと思う市民の割合　【都市計画課】

単位	基準値(H28)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	指標のうごき
%	82.6	－	83.5	↗	(向上)

目標達成度：(達成)



評価

（状況）都市景観が良好だと思う市民の割合は83.5%で、前回（R2）87.6%と比較すると4.1ポイント減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると0.9ポイント増加しており、目標値を達成しています。
（原因）市内中心部では、市民交流センターtetteや風流のはじめ館のオープンに加え、近隣の空き地や空店舗を有効に利用する民間事業が活発になり、まちの空間が適切にリニューアルされていることが要因と考えられます。

政策　04　環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

施策　03　水道水の安定供給

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
水道利用者	安全・安心な水の安定供給がなされています。

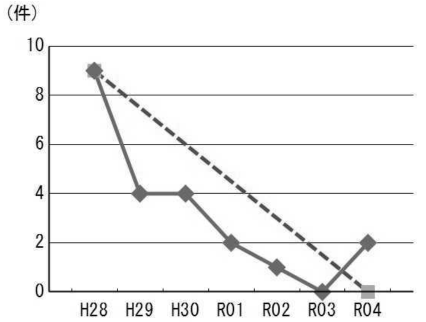
施策の成果状況と評価

指標① 水道施設の不具合における断水件数　【水道施設課】

単位	基準値(H28)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	指標のうごき
件	9	0	2	0	(向上)

評価

（状況）水道施設の不具合による断水件数は2件（漏水）で、前年度と比較すると2件増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると7件減少しています。
（原因）水道施設の維持管理を適正に実施していますが、経年劣化等により、漏水箇所の修理を行うため断水を行ったものです。



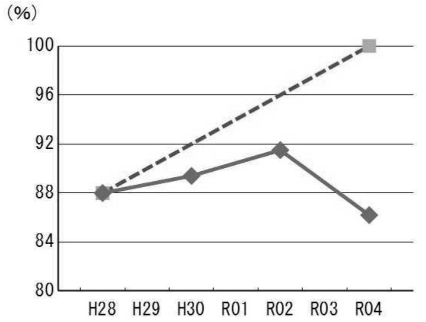
目標達成度：(高)

指標② 水道水が安全・安心だと思う市民の割合　【水道施設課】

単位	基準値(H28)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	指標のうごき
%	88.0	−	86.2	↗	(横ばい)

評価

（状況）水道水が安全・安心だと思う市民の割合は86.2%で、前回（R2）91.5%と比較すると5.3ポイント減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると1.8ポイント減少しましたが、市民アンケートにより取得した指標であり、統計誤差の範囲であるため、横ばいです。
（原因）前回（R2）に引き続き高い水準を維持しており、安定的に水道水を供給できているためと考えられます。



目標達成度：(中)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。
※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

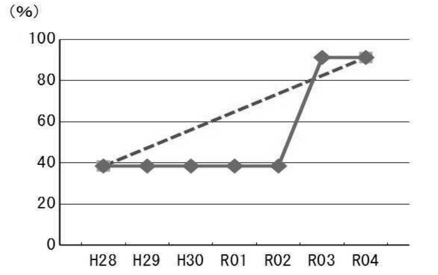
- 基本事項　01　水道施設の耐震化
- 基本事項　02　水道施設の適切な維持管理
- 基本事項　03　水道事業の経営安定化

基本事項01　水道施設の耐震化

指標①	単位	基準値(H28)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	指標のうごき
浄水施設の耐震化率　【水道施設課】	%	38.5	91.2	91.2	91.2	(向上)

評価

（状況）浄水施設の耐震化率は91.2%で、目標値を達成しています。
（原因）2011（H23）年度から進めていた西川浄水場（19,500立方メートル/日）の耐震化が2021（R3）年度に完了したためです。



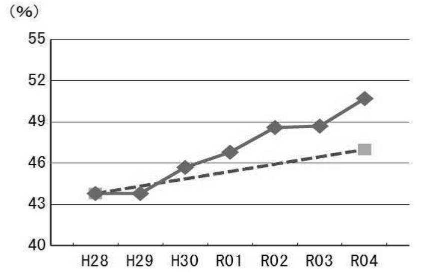
目標達成度：(達成)

基本事項01　水道施設の耐震化

指標②	単位	基準値(H28)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	指標のうごき
基幹管路の耐震化率　【水道施設課】	%	43.8	48.7	50.7	47.0	(向上)

評価

（状況）基幹管路の耐震化率は50.7%で、前年度と比較すると2.0ポイント増加し、目標値と比較すると3.7ポイント増加しており、目標値を達成しています。
（原因）長沼第1浄水場導水管及び長沼送水管の耐震化を実施したためです。



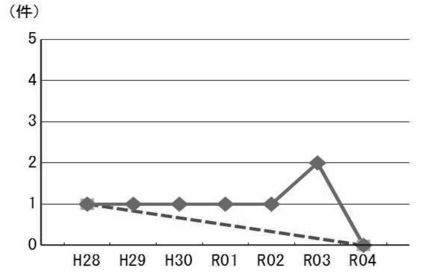
目標達成度：(達成)

基本事項02　水道施設の適切な維持管理

指標①	単位	基準値(H28)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	指標のうごき
浄水施設の不具合件数　【水道施設課】	件	1	2	0	0	(向上)

評価

（状況）浄水施設の不具合件数は0件で、前年度と比較すると2件減少し、総合計画基準値（H28）と比較すると1件減少しており、目標値を達成しています。
（原因）計画的に機器の分解整備や更新を実施しているためです。



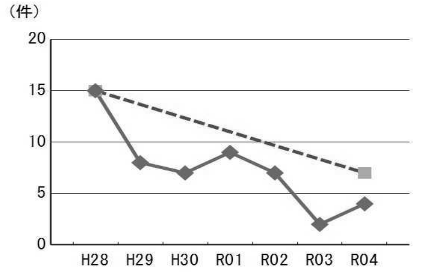
目標達成度：(達成)

基本事項02　水道施設の適切な維持管理

指標②	単位	基準値(H28)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	指標のうごき
配水管の漏水件数　【水道施設課】	件	15	2	4	7	(向上)

評価

（状況）配水管の漏水件数は4件で、前年度と比較すると2件増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると11件減少しており、目標値を達成しています。
（原因）経年劣化等により漏水は発生しますが、計画的な更新と共に漏水調査等を実施し、維持管理業務を適正に進めているためです。



目標達成度：(達成)

□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項　01　水道施設の耐震化
- 基本事項　02　水道施設の適切な維持管理
- 基本事項　03　水道事業の経営安定化

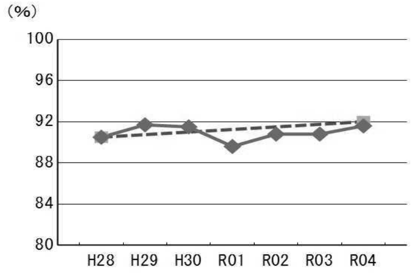
基本事項03　水道事業の経営安定化

指標① 有収率　【水道施設課】

単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき	目標達成度
%	90.5	90.8	91.6	92.0	(向上)	(中)

評価

（状況）有収率は91.6%で、総合計画基準値（H28）と比較すると1.1ポイント増加しており、順調です。
（原因）水道施設（管路等）を計画的に更新し、老朽管などからの漏水等の改善が進められているためです。



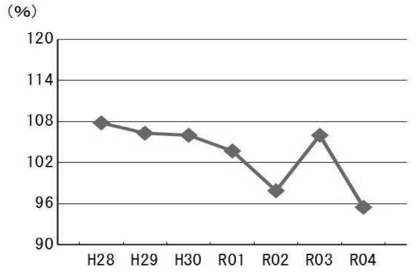
基本事項03　水道事業の経営安定化

指標② 料金回収率　【経営課】

単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき	目標達成度
%	107.8	106.0	95.5	100.0以上	(低下)	(低)

評価

（状況）料金回収率は95.5%で、総合計画基準値（H28）と比較すると12.3ポイント減少し、前年度と比較すると10.5ポイント減少しています。
（原因）燃料価格の高騰、検定満期に伴う水道メーターの交換数の増加、2021（R3）年度に取得した西川浄水場急速ろ過施設等の減価償却の増加等により、1立方メートル当たりの事業費を示す給水原価が総合計画基準値（H28）と比較すると24.15円増加し、前年度と比較すると21.75円増加したためです。



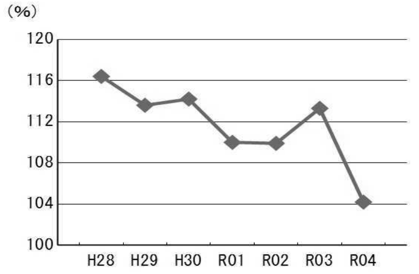
基本事項03　水道事業の経営安定化

指標③ 経常収支比率　【経営課】

単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき	目標達成度
%	116.4	113.3	104.2	100.0以上	(低下)	(達成)

評価

（状況）経常収支比率は104.2%で、総合計画基準値（H28）と比較すると12.2ポイント減少し、前年度と比較すると9.1ポイント減少していますが、目標値は達成しています。
（原因）基準年と比較して12.2ポイント減少した要因は、給水収益が46,461千円減少したこと、業務費が30,210千円、減価償却費が165,799千円増加したためです。また、前年度と比較して9.1ポイント減少した要因は、原水及び浄水費が34,643千円、業務費が35,065千円、減価償却費が46,405千円増加したためです。



政策　04　環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

施策　04　生活排水対策の推進

施策のプロフィール

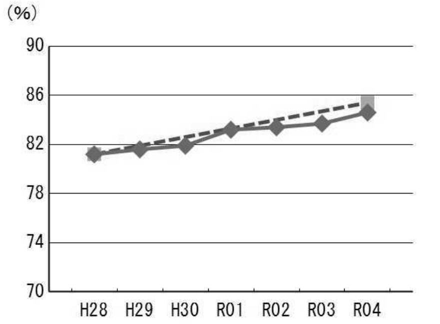
施策の対象	施策の意図
市民、河川水質	生活排水処理施設により、市民の生活排水が適正に処理され、下流域の河川や湖沼などの水環境が向上します。

施策の成果状況と評価

指標①	単位	基準値(H28)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	指標のうごき
汚水処理人口普及率（公共下水道・農業集落排水施設・合併処理浄化槽の合計）【下水道施設課】	%	81.2	83.7	84.6	85.4	☀（向上）

評価

（状況）汚水処理人口普及率は84.6%で、前年度と比較すると0.9ポイント増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると3.4ポイント増加しており、順調です。
（原因）家の建替えや大規模リフォーム時に併せて、公共下水道への接続や合併処理浄化槽への転換を考え、着手までに至らず時間を要していることや、高齢者世帯等で更なる経済的負担への躊躇などが要因と考えられます。



目標達成度：▮▮▮（高）

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。
※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

□基本事項の成果状況と評価

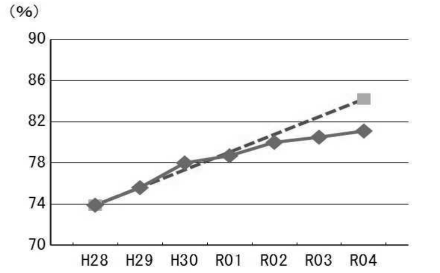
- 基本事項　01　生活排水処理施設の整備
- 基本事項　02　水洗化の促進
- 基本事項　03　処理場・下水道管の適切な維持管理
- 基本事項　04　公営企業の経営安定化

基本事項01　生活排水処理施設の整備

指標①	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
公共下水道整備率 【下水道施設課】	%	73.9	80.5	81.1	84.2	(向上)
						目標達成度：(中)

評価

（状況）公共下水道整備率は81.1%で、前年度と比較すると0.6ポイント増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると7.2ポイント増加しています。
（原因）未整備地区における管路整備が進んだことにより、下水道施設を使用できる区域面積が2016（H28）年度の926haから1,016haへ増加しましたが、私道の同意徴収等に時間を要したことにより整備が進まない箇所があり、目標値には至りませんでした。

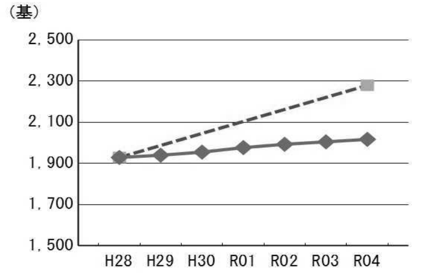


基本事項01　生活排水処理施設の整備

指標②	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
転換による合併処理浄化槽設置基数(累計) 【下水道施設課】	基	1,929	2,005	2,017	2,279	(向上)
						目標達成度：(低)

評価

（状況）単独処理浄化槽及び汲取り便槽からの転換による合併処理浄化槽設置基数（累計）は2,017基で、前年度と比較すると12基増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると88基増加しています。
（原因）単独処理浄化槽を使用している世帯では、すでにトイレが水洗化され不便を感じていないこと、また、高齢者世帯等で更なる経済的負担への躊躇などを理由に転換が進みにくい状況などが要因と考えられます。

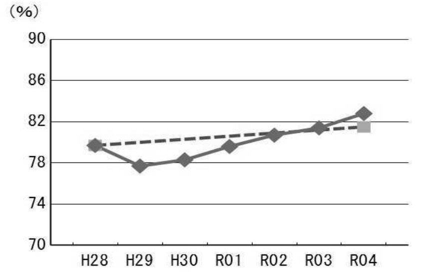


基本事項02　水洗化の促進

指標①	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
公共下水道水洗化率 【下水道施設課】	%	79.7	81.4	82.8	81.5	(向上)
						目標達成度：(達成)

評価

（状況）公共下水道水洗化率は82.8%で、前年度と比較すると1.4ポイント増加し、目標値と比較すると1.3ポイント上回っており、目標を達成しています。
（原因）公共下水道の整備が進んだことで供用開始区域が拡大し、接続者が増加したことや、未接続者に対し、継続して接続勧奨の通知等を行っていることが要因と考えられます。

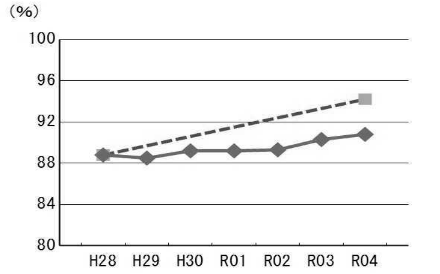


基本事項02　水洗化の促進

指標②	単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
農業集落排水施設水洗化率 【下水道施設課】	%	88.8	90.3	90.8	94.2	(向上)
						目標達成度：(低)

評価

（状況）農業集落排水施設水洗化率は90.8%で、前年度と比較すると0.5ポイント増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると2.0ポイント増加しています。
（原因）主に大桑原、稲・松塚地区の単独及び合併処理浄化槽を使用している世帯では、すでにトイレが水洗化され不便を感じていないことなどが要因と考えられます。



□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項　01　生活排水処理施設の整備
- 基本事項　02　水洗化の促進
- 基本事項　03　処理場・下水道管の適切な維持管理
- 基本事項　04　公営企業の経営安定化

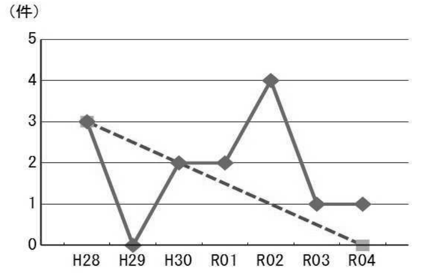
基本事項03　処理場・下水道管の適切な維持管理

指標① 管きょの維持管理の不具合・トラブル件数　【下水道施設課】

単位	基準値(H28)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	指標のうごき
件	3	1	1	0	(向上)

目標達成度：(中)

評価
（状況）管きょの維持管理の不具合・トラブル件数は1件で、前年度と同数であり、総合計画基準値（H28）と比較すると2件減少しています。
（原因）今回の不具合は冬期間において、管きょ内に動植物油が蓄積され閉塞したことが要因です。



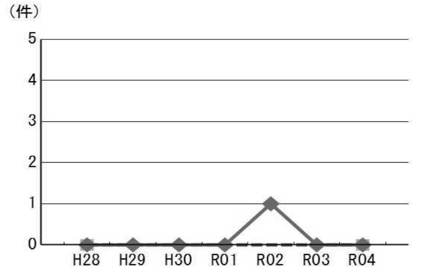
基本事項03　処理場・下水道管の適切な維持管理

指標② 処理場の維持管理の不具合・トラブル件数　【下水道施設課】

単位	基準値(H28)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	指標のうごき
件	0	0	0	0	(向上)

目標達成度：(達成)

評価
（状況）処理場の維持管理の不具合・トラブル件数は0件で、前年度及び総合計画基準値（H28）と同数であり、目標値を達成しています。
（原因）処理場の維持管理については、専門知識を有する業者に委託すると共に、遠方監視システムにより、迅速な対応を行っています。また、施設の老朽化に対応するため、設備・機器の修繕、更新を適切に行っているためです。



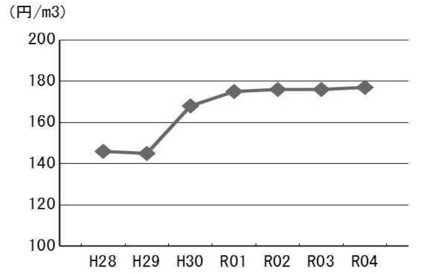
基本事項04　公営企業の経営安定化

指標① 公共下水道使用料単価　【経営課】

単位	基準値(H28)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	指標のうごき
円/m3	146	176	177	150以上	(向上)

目標達成度：(達成)

評価
（状況）公共下水道使用料単価（収益）は177円/立方メートルで、前年度と比較すると1円/立方メートル増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると31円/立方メートル増加しており、目標値を達成しています。
（原因）2018（H30）年4月1日に料金改定を行ったことや2019（R1）年10月1日に消費税率引き上げに合わせ、料金改定を行ったことにより、使用料単価が上がったためです。



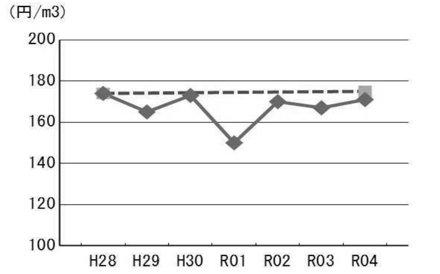
基本事項04　公営企業の経営安定化

指標② 農業集落排水処理施設使用料単価　【経営課】

単位	基準値(H28)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	指標のうごき
円/m3	174	167	171	175	―

目標達成度：―

評価
（状況）農業集落排水処理施設使用料単価（収益）は171円/立方メートルで、前年度と比較すると4円/立方メートル増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると3円/立方メートル減少しています。
（原因）人口減少等により有収水量が減少しましたが、収入額は横ばいのため、実績値が増加しています。
※2020（R2）年度から地方公営企業法を全適用したため、基準値、目標値等との単純比較はできません。



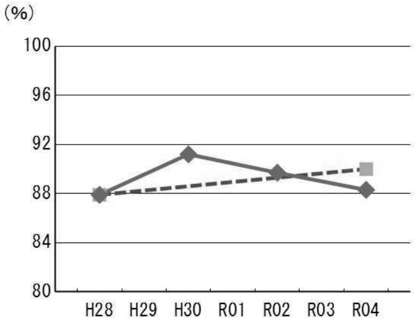
政策　04　環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

施策　05　環境の保全と循環型社会の形成

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、自然環境	豊かな自然環境が保全されています。

施策の成果状況と評価

		単位	基準値(H28)	実績値(R03)	実績値(R04)	目標値(R04)	指標のうごき
指標①	自然環境に満足している市民の割合 【環境課】	%	87.9	－	88.3	↗	(横ばい)
評価	（状況）自然環境に満足している市民の割合は、前回（R2）89.7%と比較すると1.4ポイント減少し、基準値と比較すると0.4ポイント増加していますが、市民アンケートにより取得した指標であり、統計誤差の範囲であるため、横ばいです。 （原因）構成している基本事項も向上または横ばいで推移している指標が多く、総合的に満足度が高いことが推測されます。						目標達成度 (中)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

※指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成28年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成30年度から令和04年度までです。

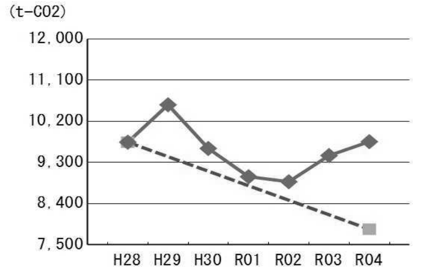
□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項　01　低炭素社会の推進
- 基本事項　02　水と大気の環境保全
- 基本事項　03　放射線対策の推進
- 基本事項　04　生活衛生の向上
- 基本事項　05　３R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

基本事項01　低炭素社会の推進

指標① 市管理施設の二酸化炭素排出量　【環境課】

単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき	目標達成度
t-CO2	9,743	9,451	9,754	7,840	（横ばい）	（低）

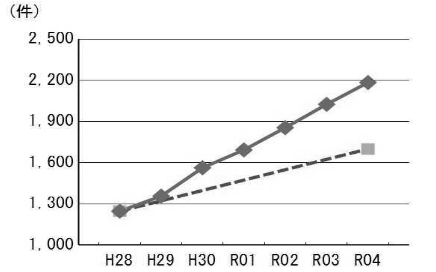


評価
（状況）市管理施設の二酸化炭素排出量は、9,754t-CO2で、前年度と比較すると303t-CO2増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると11t-CO2増加しています。
（原因）市庁舎や市民交流センターなど計画策定時以降に整備された施設については、省エネルギー設備を導入し、CO2削減に取り組んでいるところですが、当初計画策定時とは、実際の施設規模等において、大きな乖離が発生したことが要因と考えられます。また、前年度から増加した原因としては、換気の励行などにより公共施設の電力使用量が増加し続けていることが要因と考えられます。

基本事項01　低炭素社会の推進

指標② 住宅用再生可能エネルギー等システム設置補助利用件数　【環境課】

単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき	目標達成度
件	1,247	2,025	2,184	1,700	（向上）	（達成）

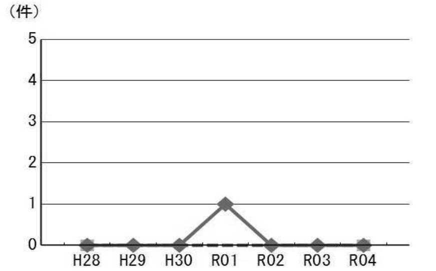


評価
（状況）住宅用再生可能エネルギー等システム設置補助利用件数の累計は2,184件で、前年度と比較すると159件増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると937件増加しており、目標値を達成しています。
（原因）再生可能エネルギー利用に対する意識が浸透してきているとともに、エネルギー価格の高騰に伴い、システムの導入が進んできていることが要因と考えられます。

基本事項02　水と大気の環境保全

指標① 水質のBOD基準値を上回った件数　【環境課】

単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき	目標達成度
件	0	0	0	0	（向上）	（達成）

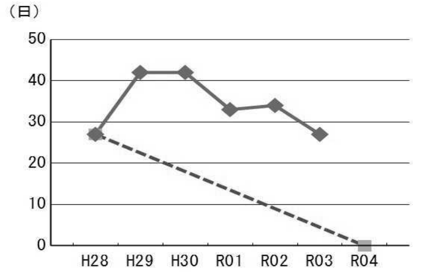


評価
（状況）水質のBOD（生物化学的酸素要求量）基準値を上回った件数は、前年度及び総合計画基準値（H28）と同様に0件です。水質測定を実施している13河川・22地点（6回/年）すべてにおいて、BODが年平均値基準を満たしており、目標値を達成しています。
（原因）下水道等の普及、事業所や住民意識の向上などにより、河川水質が安定していることが要因と考えられます。

基本事項02　水と大気の環境保全

指標② 大気の基準値を上回った日数（光化学オキシダント昼間の1時間値が0.06ppm以上）　【環境課】

単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき	目標達成度
日	27	27	－	0	―――	―――



評価
（状況）大気の基準値を上回った日数（光化学オキシダント昼間の1時間値が0.06ppm以上）は、2024（R6）年1月以降に公表される予定の県大気汚染測定結果より取得するため、実績値は取得できませんでした。2021（R3）年度の年平均値は0.036ppmで、光化学スモッグ注意報が発表される0.12ppmより低い値となっています。
（原因）工場設備の機能向上や、ハイブリッド自動車等の普及が進んできていることなどが要因と考えられます。

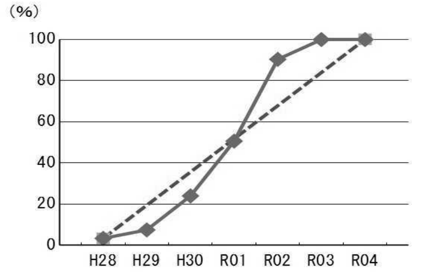
□基本事項の成果状況と評価

- 基本事項　01　低炭素社会の推進
- 基本事項　02　水と大気の環境保全
- 基本事項　03　放射線対策の推進
- 基本事項　04　生活衛生の向上
- 基本事項　05　３R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

基本事項03　放射線対策の推進

指標① 搬出が完了した除去土壌等の割合　【環境課】

単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
%	3.4	99.9	99.9	100.0	(向上)



目標達成度：(高)

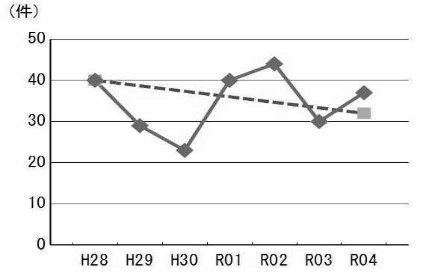
評価

（状況）搬出が完了した除去土壌等の割合は、前年度と同様に99.9%であり、概ね搬出が完了しましたが、搬出困難箇所が6か所あります。
（原因）土地の売買などにより埋設箇所の上に、工作物が建てられたり、搬出拒否をする案件があるためです。

基本事項04　生活衛生の向上

指標① 生活衛生敷地管理（雑草、害虫等）に関する苦情件数　【環境課】

単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
件	40	30	37	32	(横ばい)



目標達成度：(低)

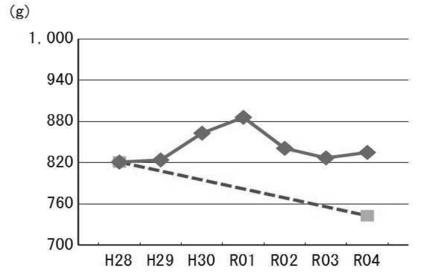
評価

（状況）生活衛生敷地管理（雑草、害虫等）に関する苦情件数は37件で、前年度と比較すると7件増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると3件減少しています。
（原因）2022（R4）年度は気温が高かったことから、雑草が繁茂しやすく害虫の活動も活発化したことにより、件数が増えたものと考えられます。

基本事項05　３R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

指標① 市民一人1日当たりの可燃ごみ排出量　【環境課】

単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
g	821	827	835	743	(低下)



目標達成度：(低)

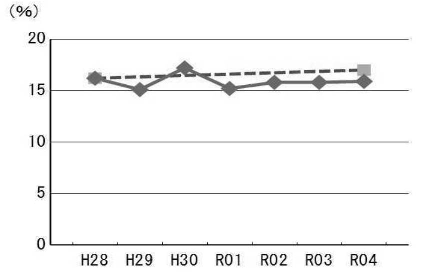
評価

（状況）市民一人1日当たりの可燃ごみ排出量は835gで、前年度と比較すると8g増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると14g増加しました。
（原因）新型コロナウイルス感染症の影響により自粛していた経済活動が、徐々に再開され、可燃ごみが増加したことが要因と考えられます。

基本事項05　３R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

指標② リサイクル率（再資源化率）　【環境課】

単位	基準値 (H28)	実績値 (R03)	実績値 (R04)	目標値 (R04)	指標のうごき
%	16.2	15.8	15.9	17.0	(低下)



目標達成度：(低)

評価

（状況）リサイクル率（再資源化率）は15.9%で、前年度と比較すると0.1ポイント増加し、総合計画基準値（H28）と比較すると0.3ポイント減少しています。
（原因）新型コロナウイルス感染症などの影響により、集団資源回収の活動が減少してきていることなどが要因と考えられます。